

## 令和4年度 第4回学校運営協議会議事録

日時 令和5年3月17日

時間 15:00~17:00

(出席者 敬称略)

### 【委員】

- 飯島 正徳 (東京都市大学知識工学部教授)
  - 内川 隆 (本校同窓会長)
  - 大石 進 (桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部客員教授)
  - 佐藤 やよい (青葉区福祉保健センター子ども家庭支援課学校連携・こども担当課長)
  - 鈴木 秀幸 (青葉区大場町在住)
  - 久保田香織 (本校PTA会長)
  - 西村 明展 (本校おやじの会)
  - 横澤 孝泰 (あおば支援学校長)
  - 佐藤 弘之 (本校校長)
- (欠席者)
- 竹下 恒子 (横浜市立市ヶ尾中学校長)

### 【事務局】

- 河合 義昭 (本校 副校長)
  - 伊藤 育生 (同 教頭)
  - 齊通 勇 (同 事務長)
  - 大矢 真 (同 学校運営協議会担当)
  - 藤井 美帆 (同 学校運営協議会担当)
- (欠席者)
- 吉宗 和真 (同 学校運営協議会担当)

### 【本校各グループリーダー】

- 本屋敷隆裕 (本校 キャリア支援グループリーダー)
- 吉居 英明 (本校 生徒会支援グループリーダー)
- 伊藤 和久 (同 生徒指導グループリーダー)
- 木村 秀樹 (同 管理運営グループリーダー)
- 佐野 英樹 (同 地域連携・広報グループリーダー)
- 吉行 伸 (同 カリキュラム開発グループリーダー)

## 1 校長挨拶

## 2 会長挨拶

## 3 報告事項《○委員、●学校》

### (1) 学校評価部会に係る報告について

#### (ア) 第2回生徒による授業評価について

●資料1の結果は資料の通りである。各教科で集計結果をもとに分析を行い、改善の手立てを検討した。

#### (イ) 令和4年度学校評価アンケートについて

●資料2の結果は資料の通りである。このアンケートは各学年1クラスずつ抽出で行われた。

○このアンケートは紙で行ったのか。また、記述欄は無かったのか。

●紙で行った。記述欄はあったが、記述された回答が無かった。

○なぜ全クラス実施ではなく抽出で行ったのか。県からの指示等があったためか。

●このアンケートは、令和5年度学校評価報告書の学校関係者評価に当てはめるために実施しているものである。そのため、全クラスではなく例年各学年1クラスずつ実施している。県からこの形式で行うよう指示されたものではない。なお、資料1の授業評価については全県指定で行われているものである。

### (2) 地域協働部会に係る報告について

#### (ア) 新たな地域連携の報告について

●昨年度、一昨年度と新型コロナウイルスの感染拡大のため全く地域連携が行えなかつた状態から、今年度は少しづつ始動している。

●青葉支援学校との連携では、ダンス部が7月5日と12月14日に子どもたちと一緒にダンスをした。サッカーチームも12月14日に交流した。今回は初めての試みとしてジャグリング部が12月19日に青葉支援学校に行き、高等部の1年生と交流した。昨年度から引き続き、文化祭関係で美術部や書道部との連携も行われている。先日参列した青葉支援学校の卒業式の、卒業生の言葉というスクリーンで上映された生徒一人ひとりのコメントの中で、「市ヶ尾高校のサッカーチームやダンス部と交流したのがとても楽しかったです」と書いてくれた生徒がいた。連携や交流を行うことで、それが特別支援学校の生徒の心にも残るということ、これからも続けていく意義を感じさせてもらえる卒業式だっ

た。次年度以降も、近い学校であるので、もっとやり方を変えながらまた新たな内容で検討していきたい。

●地域の小学生、未就学児との交流も、新しく始めたものである。藤が丘駅前の学童保育園ワオキッズの子どもたちが、12月1日に本校グラウンドで、野球部と野球を通しての交流をした。硬球は使用できないため柔らかいボールを使用し、部員が子どもたちを遊ばせるような形で行われた。ワオキッズについては、10月に行われた地域貢献活動（地域清掃）でも、今年度新たに加わってもらい、本校生徒と一緒に公園の清掃を行っている。資料には掲載されていないが、3月13日放課後にダンス部がワオキッズに行き、子どもたち20名とダンスによる交流を行った。歩いて行ける距離もあるので、今後も交流を続けていく予定である。また、横浜青葉ネクサス（小学校野球チーム）と野球部の交流も行われた。

●3月22日に1年生を対象として、高校生の金融リテラシー向上を図るための金融教育が行われる。三井信託銀行青葉台支店が青葉区の子ども家庭支援課と連携し、本校生徒を対象に行われることになった。前年度にも1年生を対象に、成人年齢引き下げと関係して契約についての話等、類似した内容を県に依頼して実施している。これらの内容は家庭科の内容にも含まれており、継続して実施したいと考えている。

●評価については次年度の内容が掲載されているが、青葉区地域子育て支援拠点ラフルとは昨年度から連携を始めており、保育系の進路を希望している2年生の生徒がラフルに行き、子どもたちとふれあつた。今後も何かできないかということで、次年度に向けて市が尾駅前のサテライトで、放課後に生徒が立ち寄るなどの交流ができないかと依頼を受けた。本校にはボランティア委員会があるので、委員の生徒に呼び掛けて、希望する生徒に展開していくかと考えている。

○様々な地域連携が行えて良かったと思う。今まででは孤立していた。これらの交流は、授業時間を見ていているものではないのか。放課後や時間外に行うのは、先生方の負担になるのではないか。また、一部の生徒だけの活動になってしまいのではないか。

●説明したものは授業時間外に行われたものであり、関わったのは一部の生徒である。課業時間内で多くの生徒が関わるものについては検討中である。青葉支援学校との話の中では、本校の体育祭に来て新たな種目で交流する案等を模索している。

○金融教育について、3年生が受けられなかつたのは残念だ。子どもから「成人になつたらどうなるの」と質問されたことがあった。

●新型コロナウィルスの感染拡大により、外部の人間を呼べる状況に無かつた。また、当時はまだオンラインで行うのも技術的に難しかつた。やりたい気持ちはあつたのだが実現に至らず申し訳ない。

○自治会や町内会との連携は何かしているのか。

●自治会とは、何かをやろうとしたところで新型コロナウイルスの感染拡大が起こってしまった。次年度以降で何かできたらと考えている。

●学校全体としては今度の4月1日に『桜を愛する会』に、ジャグリング部へ外部での発表を観た方から声がかかり、出演依頼があった。また、青葉警察署が交通安全の催しを行った際に、警察署が区役所に出演団体の紹介を依頼し、そこから市ヶ尾高校に依頼が来るということもあった。徐々に認知度が上がっていると感じている。

○夏の盆踊りができなくなってしまった際に、何か子どもたちを楽しませられることをしたいということで、スポーツイベントを行った。それにダンス部、ジャグリング部、バトン部に来てもらった。小さい子どもたちが一緒に踊ったりするなど楽しんでいたし、大人も「市ヶ尾高校すごいね」と評価していた。そのような話は徐々に広がっている。あまり声が掛かり過ぎて忙しくなってしまうのは可哀想だとも思うが、色々なところで見てもらえるのは生徒にとって励みになると思う。継続的にやっていった方がよい。

### (3) 学校からの報告について

●指定校推薦は84名受験し、84名合格した。公募制推薦は受験者全員が受かるというものではない中で24名受験し、11名が合格した。総合型選抜（以前はAO入試と言われていたもの）は、書類審査と面接が基本的には共通で有り、それに加えて小論文や学力検査、体験授業のようなものがある。31名受験し、18名合格した。

●共通テストは3年生在籍387名の内、申し込みは329名。指定校推薦で合格した生徒等は受験しないため、共通テストリサーチの提出は260名であった。

●一般受験も含めて、生徒からの結果報告は現在集計中である。速報値として47期生の合格状況は、国公立が16名で、主に横浜国立大学、筑波大学、横浜市立大学、東京都立大学など。その中でも横浜市立大学が5名で一番多い。私立で現役生20名以上が合格しているのが、青山学院大学、神奈川大学、國學院大學、駒澤大学、専修大学、中央大学、東海大学、東京都市大学、東洋大学、日本大学、法政大学、明治大学、明治学院大学など。所謂MARCHや日東駒専あたりがボリュームゾーンになっている。

●第2回学校説明会が12月10日に実施され、約800名が来校した。

●球技大会が12月22日に実施された。PTA主催でキッチンカー4台で昼食の提供が行われた。3学期末の球技大会は3月23日に実施予定である。

●卒業証書授与式が3月7日に実施された。新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の参列は生徒1名につき2名までとした。

- 人権教育は1，2年生を対象に3月13日に動画視聴形式で行われた。見た目ではわからないような障害がある方との関わり方等の内容であった。
- 金融教育は1年生を対象に、お金のトラブル回避術等の内容で3月22日に実施予定である。
- 社会人講話は2年生を対象に、仕事の内容や職業選択の切欠等の内容で3月22日に実施予定である。
- 修了式、離任式、退任式は3月24日に実施予定である。
- 入学式は4月7日に実施予定である。
- 入学者選抜は、2月14日に学力検査、15～16日に面接が行われた。体調不良の受験者が1名いたため、その受験者については追検査を行った。最終倍率は1.23倍であった。
- 47期生を対象に行われた進路に関する満足度調査については、資料の通りである。英検で高校卒業程度とされるのは2級だが、本校生徒は受験すれば取得できるような状態である。  
○社会人講話についてもう少し詳しく知りたい。内容や話し手はどうなっているのか。
- 今回が初めての実施である。2年生は、1年生のときに職業分野別説明会を受けている。2年生では、その先の働く自分をイメージするために進路の分野別説明会を行う。実際の社会人10名が来校し、各教室を回って話をする予定である。今回が初めてなので、生徒たちにとって良い内容であれば来年以降も続けたい。
- 資料訂正。入学式は第50回。

#### (4) 令和4年度学校評価報告書について

##### (イ) 新たな地域連携の報告について

- 今回の資料で新たに項目として入ったのは、『成果と課題』『改善方法等』である。  
○総合的な探究の時間とはなんなのか。学校としてイメージが有り、教員の中で共有できているのか。
- それが一番難しい。試行錯誤である。考え方のプロセスが大事であり、それが実際に発揮できるのは社会に出てからなので、高校でプロセスが身に付くとよい。あえて授業でやる必要なのかという疑問もあるので、行事等と絡めたらいいと思う。テーマを決めたり情報収集をしたりするにあたって、施設がないと、学校だけでは難しいこともある。また、連絡をして予定を組んでも、その通り行うのは難しい。今は色々な教材があるので、それを活用できるとよい。今は長期休業等を利用して個々が活動している。学年ごとに利用している教材も違う。

○現場を考えないで教育委員会が持ってくる。小学校だとお店屋さんごっこなどからコミュニケーションや計算を遊びの中で学んだりしているが、それを発展させたものだろうか。最終的には社会に出たときどのような生き方をするのかであり、学校にいる間に結果は出ない。10年20年先の話で途方もない。試行錯誤を続けるしかないだろう

○（自転車通学について）ヘルメットを被っている生徒はいるか。

●スポーツサイクル系の生徒は自主的にしている。所謂ママチャリではない。

●ヘルメットをしていて良かったと思うこともある。4月からは準努力義務になる。

○ヘルメット着用についての校則等はないのか。

●無い。

○頭は大事であるし、市ヶ尾高校周辺は坂道も多く、ぶつかったらただでは済まない。ヘルメット着用を推奨したい。指導とまでいかなくとも、通学経路や方法を考えさせることも含めて、着用の呼びかけをしてはどうか。

○実際に通学で事故にあった生徒はいるのか。

●いる。

○私がいた頃も10件未満程度あった。

●神奈川県は義務化されているため、保険には入っている。また、PTAに入っていれば登下校は保証されている。

○田舎でも不思議だったが、高校生はヘルメットを嫌うのだろうか。できれば被ったほうがいいと思う。被っていないことへのデメリットを教えてもらえるとよい。

○着用することが普通になってくれたら、恥ずかしいという気持ちも無くなるのではないか。

●本当に全員に被せるなら、義務化されるしかない。安全性の部分では、今後義務化されていくのだろう。

○学校で自転車通学の登録する際に紹介するのはどうか。加害者になるのも大変である。通学する生徒に自覚してもらうのが大切だ。

○本校創立50周年に向けての動きはあるのか。

●昨年12月にみなとみらいホールを借りることが決まった。令和6年5月23日（木）に記念式典を行うため、準備を進めている。例年5月に芸術鑑賞会をしているが、令和6年は記念行事と併せて行う予定である。同窓会と協力していきたい。

○同窓会の動きとしては、30周年はやったが、40周年は記念誌を出すだけだった。次は50周年であるので、同窓会としても手は抜けないと考えている。30周年と同じようにやるならさほどではないが、時代も変わっている。相談していきたい。

○キッチンカーは事前にアンケートを取った上で行った。全員に行き渡るよう、食券を

作ってHRで配付してもらった。

### (5) その他

- 来年度の文化祭は、外部の人が入れるようになるのか。
- 未定である。県からの通知では、まだ入学式のことしか来ていない。
- 青葉区役所も30周年。市ヶ尾高校に相談に来る人がいるかも知れない。
- おやじの会としても、来年度は文化祭で活動できたらと考えている。
- 総合的な探究の時間について、聞いた人はイメージがつかない。何と聞かれた際に端的に答えられるといいのだが。大学の学生でも、みんな問い合わせを考えるのが苦手。
- 総合的な学習の時間から始まり、探究に名前が変わった。鬼門のところは課題設定をしてまとめる一連の流れを身につけさせること。様々なことが書かれているが、結局は自分で課題を見つけて情報の真偽を確かめてまとめて自分の言葉で発表することが大切である。
- 1年間色々なことをする中で、やり始めるとボロが見える学校だなと思う。生徒が安心して過ごせる学校だといいと思うので、色々な人の手を借りて改善できたらいい。市ヶ尾高校の周りには、良いものがたくさんある。

## 5 その他

特になし